

龍ヶ崎市社会福祉協議会主催

ジュニア・高校生ボランティアスクール—活動報告（前半）—

奉仕プロジェクト委員会

例年、夏休みを利用して開校されている龍ヶ崎市社会福祉協議会主催のボランティアスクールに龍ヶ崎中央ロータリークラブは支援活動を行っております。今年もその活動計画が発表され、7月26日のジュニアボランティアスクールから始まりました。会員の皆さんには夏休み期間中の活動計画についてご案内しておりますが、森林公園で行われます合同の「ふれ愛キャンプ2017」（8月5日（土）・6日（日））を前後して、前半分の活動内容を、写真を中心にご案内します。

■ジュニアボランティアスクール—開校式—

日 時 平成29年7月26日（水）13時から16時

場 所 総合福祉センター会議室・リハビリ室・あざみ

【概要】13:00に小嶋職員の司会で始まり、青山社会福祉協議会常務理事より開校にあたってのご挨拶を頂きました。青山常務には当クラブのこともご紹介頂きました。続いて、龍ヶ崎中央RCの川上幹事にクラブを代表して子供たちに激励のお話をいただきました。



青山常務あいさつ



川上幹事あいさつ



記念品紹介



バルーンアート作成指導



風船交流バレー



参加者記念撮影

今年の当クラブからの参加賞は5色のクリアファイル100セットでした。参加した子供たち並びに高校生にスクール当日配布します。

ジュニアスクールの代表よりお礼の言葉を頂き、スタッフの紹介をして、最後に全員で写真を撮って開校式を終わりました。

活動の本番は「あざみ」利用者との交流会：風船バレーです。子供たちとあざみの利用者さんとの対戦、混合チームの対戦ととても和やかな交流会でした。

最後のコーナーでは、青山常務にバルーンアートの作り方を丁寧に教えて頂き、子供たちが作ったバルーンアート作品を施設利用者の皆さんにお渡しし、御帰宅のお見送りを致しました。

◆参加者 ジュニアボランティア9名、ロータリー3名、事務局員3名、お母さん1人。

■高校生ボランティアスクール—アイマスク体験—

日 時 平成 29 年 7 月 27 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)

場 所 地域福祉会館会議室

【概要】高校生スクールは初回から実践的なスケジュールで、5名の参加者がアイマスクや車いすで互いにつながり、ヨーカドーまでコミュニティバスで移動し、買い物体験等を行ったとのこと。RC 担当の山口も最後だけ一緒しました。

【プログラム】

13 : 30 アイスブレイク : アイスブレイク・ガイド方法講習 (講師 : 小嶋職員)

13 : 50 視覚障がい者疑似体験 : バス乗車体験イトーヨーカドー・サプラでの買い物体験

15 : 30 まとめ : 声かけの仕方・接し方・気づいたこと

16 : 00 終了



地域福祉会館へ到着



体験発表会



海老原 RC 会員あいさつ

◆学校内における行事等もあって参加学生も少ないようです。夏休み期間中の社会体験学習の場として多くの学生に魅力を訴えることも必要なようですね。(取材班)

■ジュニアボランティアスクール—点字体験—

日 時 平成 29 年 7 月 28 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 00 (予定)

場 所 社会福祉協議会中央支所

【概要】13 : 30 に参加の子供体が集まり、点字体験講座を受講してもらいました。ジュニアボランティア 7 名、点訳友の会の皆さん 3 名、保護者 1 名の皆さんでした。点字で自分の名刺を作るところまで体験できたようです。私はアイスを差入れしながら子供たちの真剣な講習に見入っていました。社協職員の鶴野さん、小嶋さんご苦労様です。子供たちをよろしくお願ひしますとお伝えし、新鮮なキュウリとなすを買って途中で帰宅させてもらいました。



点訳友の会の説明



説明に聞き入る子供たち



体験コーナーか

◆私も具体的な展示の学習場面は初めてでした。1つのブロックに6文字が刻まれており、コンピュータ編集機で入力する文字盤が1ブロック6文字になっており、タイプライターを検印するようにして、テープに穴あきしていたことを思い出しました。古い時代の話ですね。(取材班)

■高校生ボランティアスクール—ふれ愛ボランティア体験：保育所での保育体験—

日時 8月2日（水）9：00～12：00

場所 子育て支援センター／なないろ保育園

【概要】例年行われている保育体験が今年も2箇所で行われました。今回も子育て支援センターの実習現場にお邪魔しました。9時にセンターに入り、センター長から注意事項等を教わり、子供が使用する遊具の拭き掃除から実習に入りました。子供たちと少し遊んで一旦帰宅して仕事につき、11時頃に再びセンターをお訪ねしました。その時には多くのお子さんと保護者が遊んでおり、その中で研修生は子供の世話をしてくれています。お孫さんと御一緒の中年男性の方と少しお話もしました。11時半すぎて社協の職員の方を含めてセンター長を囲んだ反省会が持たれました。保育士希望の学生さんも真剣でしたよ。



施設長よりご指導



研修生の初仕事



子育てセンターのふれあい

◆なないろ保育園についてはご紹介できませんでした。保育体験が高校生には人気があるようですが、実習の効果は如何だったのでしょうか？ 社会福祉協議会の担当者から情報を入手してご紹介しようとも考えましたが、自分の目で見たことだけにさせていただきます。（取材班）

□地域ケアシステム推進事業～ボランティア講演会～

日時 平成29年7月19日午前10時30分～11時50分（予定）

場所 地域福祉会館大会議室

講演者 染野一成氏（とりで障害者協働支援ネットワーク代表、NPO法人生きる理事長）

演題 「私たちの日常・・・」～障がい者からみた日常の世界～

◇ジュニア・高校生ボランティア活動ではないが、社会福祉協議会の推進事業としてプログラムに載っていたので、私も参加させてもらった。最初はボランティア活動の一環と思っての参加であった。参加して障がい者の日常生活や生きていくための知恵ともいえる内容がご紹介された。

◇地域福祉会館の大会議室には多くの聴講者が集い、車いすの染野先生の講演に真剣に耳を傾けていた。私も箇条書きにメモをさせてもらい、障がい者でありながら活動的な生き方をしておられる講師の一言一言から多くを学ぶことができました。

◇最後の時間帯で、参加者から多くの質問や障がい者に対する励ましの言葉が飛び交いました。染野講師のお応えも明確で、清々しい会場風景に感動しました。

◇写真撮影はできません（しません）でしたので、貴重なメモ書きを何時かクラブ例会で紹介できればとも考えています。

◆ここまでの森林公園による「ふれ愛キャンプ2017」の前に計画されていたボランティアスクールの活動です。前半の奉仕プロジェクトの対応として例会報告とさせていただきます。

以上